Ⅱ **産** 業



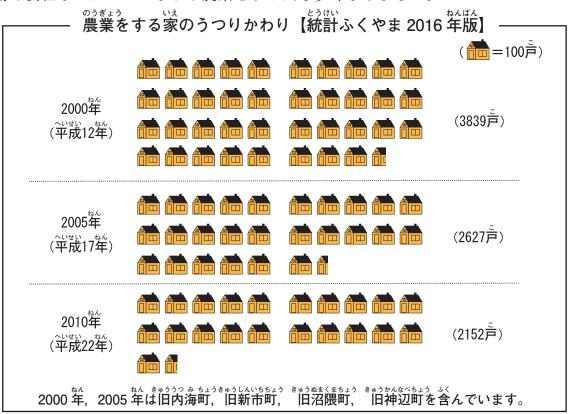
ここでは、福山市の人々の「ものを作る仕事」や「ものを売る仕事」のことについて学びます。人々の仕事の様子から、仕事とくらし、ほかの地域とのつながりを調べたり、働く人の工夫について考えたりしてみましょう。

1 田や畑で働く人々の仕事

こめ つく しごと (1) 米を作る仕事

米作りは、昔から川にそった平らな土地でさかんに行われていました。福山市では 森神・瀬戸・駅家・加茂・芦田・新市・神辺などに米作りをする広い田があります。 しかし、昔からくらべると、農業をする家は、だんだん少なくなってきています。

米作りの作業時間は、田植え機や稲刈り機、コンバインなどの機械をたくさん使うようになり、昔とくらべて短くなりました。そのため、農業をする人の中でも、工場や会社などにつとめながら農業をする人も多くなりました。



(2) やさいを作る仕事

福山市では、川口・新涯・曙・山手でくわい、箕島でほうれんそう、新市でアスパラガスなどのやさいがさかんに作られています。これらのやさいは、福山市だけでなく、ほかの市場にも送られています。また、冬でもビニールハウスの中をあたためて、きゅうり・トマト・イチゴの早作りをしている農家もあります。

ア くわい作り

おせち料理に使われるくわいは、中国が 原産地です。福山では、1901年(明治34年)頃から、福山城の堀で栽培されたのが始まりで、その後、川口、新涯、 曙 辺りでたくさん作られるようになりました。

1995年 (平成7年) には、広島県は、広島県は、 広島県を抜いて生産量日本一になりました。 げんざい 現在では、全国の約半分を福山市内で生産し、日本各地へ出荷しています。



[くわい]

- くわい作りの1年 -

〔7月~8月〕

ばしょ かくにん 場所を確認してみよう!

(6月中旬~下旬)



たね 種いもを水田に植え付けます。



葉が出た後、水の量を増やします。



つめ みず なか さぎょう 冷たい水の中での作業は とても大変そうだね。

がつちゅうじゅん [11月中旬~12月中旬]



水圧ポンプを使い、水の強い勢いでくわいを掘り出します。

ふるさと豆知識

くわいっこ

2012年(平成24年)に、くわいを素揚げしたスナック菓子「くわいっこ」が

開発されました。

福山の特産品として 販売され人気があります。



イ アスパラガス作り

アスパラガスは、すずしくて、柔らかく栄養をたくさん含み、風通しや水はけのよい畑を好み、主に、新市や神辺で栽培されています。

ビニールハウス栽培と露地栽培(屋根などのおおいをしない作物の作り方)の のかな まこな 両方を行っています。





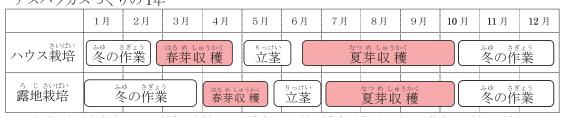
[アスパラガス]



[アスパラガスのビニールハウス]



な編の山ファミリー



※ 立茎…夏芽収穫のために養分を蓄えさせる作業

冬の作業…株の刈り取り→畝焼き→堆肥,冬肥

アスパラガスは、夏には1日に10cm以上の伸びるため、毎日2~3回収穫します。収穫します。収穫後は、選果場で選別され、共同で出荷されます。他県(佐賀・長崎・長野)や広島県内のたした。とは、10cmでは、10cm



せんかじょう [**選果場**]

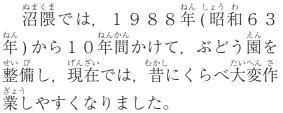
(3) くだものを作る仕事

日あたりのよい山の斜面を使って、溶素は、瀬戸・熊野・赤坂・蘇家でぶどうが作られています。引野ではすもも、本郷・金江・蔵王では柿、田尻ではあんず、川口・大がではいちじく、神辺ではももが作られています。これらのくだものは、「福山地方おろし売り市場」などに送られます。

ぶどう作り

福山でのぶどう作りは、1951年(昭和 26年)ごろに、「マスカット・ベリーA」を作り始めたことがきっかけです。その後、研究を重ね、「ニューベリーA」を開発し、生産・販売をはじめました。

ぶどう作りは、急な斜面での作業や大きな機がいるかでです。とが難しいことから重労働でした。



ぶどうは、南向きの斜面で、やわらかく、水はけのよい土を好みます。また、雨の量が少なく、1日の温度差が大きいほど色がよく付き、あまさが増します。

ぶどう畑を整備したら、作業がどのように変わったのかな?



ぶどう作りは、ビニールハウス栽培とビニール製の屋根をかけたトンネル はいばい おこな 栽培で行われています。冬の間も、いらない枝を切る作業を行い、ハウスも



[ニューベリーA]



(急な斜面のぶどう畑)



ぱいび 〔整備されたぶどう畑〕

のは6月上旬から8月下旬まで、トンネルものは8月下旬から10月上旬まで収穫できます。また、年間10回くらい機械を使って病気や害虫の被害を予防するために農薬をまきます。

[ぶどう作りの一年]

12月	せん定 (いらない枝を切る)
1月	ビニールハウスにビニールを張り暖房を入れる
2月~4月	- - - - - - - - - -
4月~6月上旬	ジベレリン処理(種を実らせなくするホルモン剤につける)
5月~6月下旬	1
がっじょうじゅん 6月上旬	ハウスもの…6月上旬~お盆に収穫
~10月上旬	トンネルもの…8月下旬~10月上旬に収穫
6月~10月	収穫(朝)→選果場に運ぶ→選果→出荷
年間を通して	10回くらい機械を使って農薬をまく

(4) その他の農産物を作る仕事

新市や駅家では、いろいろな種類のきくがたくさん作られ、日本各地に送られています。また、熊野や本郷・藤江では、いぐさが植えられ、豊表が作られています。



[いぐさの栽培]



^{かき} せんかじょう ほんごう</sup> [柿の選果場 (本郷)]



^{ふくやま 5 ほう} う いちば 〔福山地方おろし売り市場〕

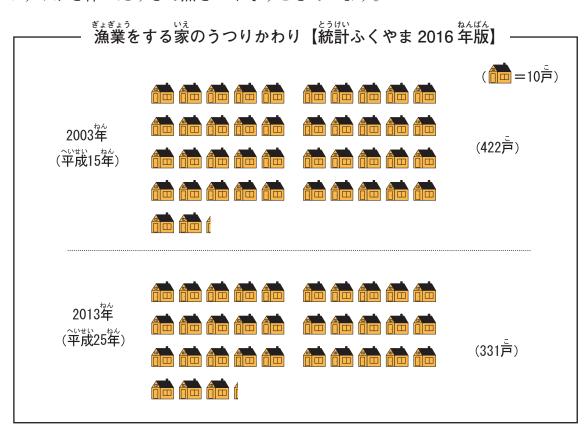
ふるさと豆知識

ぬまくまさん 沼隈産ぶどうの世界デビュー

2 海辺で働く人々の仕事

走島、鞆、田尻、水呑、沼隈、内海、松永の海では、昔からいろいろなしゅるいの魚がとれていました。走島 周辺では、カタクチイワシの稚魚(シラス)がとれ、チリメンイリコにしています。福山沖合いでは、ネブト、ワタリガニ、シャコなどがとれます。また、走島、田尻、内海では、のりの養しょくが行われています。

しかし、海のうめたてにより、魚の住む場所が少なくなったことや、工場や町からで出る排水で海がよごれたことなどから、魚の数が少なくなっため、漁業の仕事だけではくらしにくくなり、漁業をやめる人もいます。そこで、小さな魚を放流したり、魚のみかを作ったりして魚をふやそうとしています。





とも c かな ひ ものづく **(鞆の魚の干物作り)**



(走島沖のカタクチイワシ漁)



うつみ みなと [**内海の港**]



うつみ [内海ののりの養しょくと加工場]



ふるさと豆知識

鞆のたいしばりあみ漁

えどしたい かいじしだい 江戸時代から明治時代にかけて、鞆では「しばりあみ」という長いあみを使った漁法でマダイがとられていました。マダイが減ったことで、昭和 30年代から漁は行われなくなりました。

現在は、1923年(大正12年)から行われている、観光客に当時の漁法でマダイをとる様子を見せる観光鯛網で、当時の様子を知ることができます。

福山には、鯛めし、鯛うずみなどの郷土料理 もあります。



- 66 -



ふるさと豆知識

ふくやま生まれ

このマークを見たことがありますか?チッチが描かれた「ふくやま生まれ」のマークは、福山市で作られた農林水産物やそれらを使った加工食品につけられています。 主に産 直 市やスーパーマーケットの産直コーナーに並べられています。

3 店で働く人々の仕事

じぶん いえ 自分の家では、どの店で、どんな Lasto か 品物を買っているか調べよう!

(1)1週間の買い物しらべ

どんな富物を	(1)1週間の食べ物のり、	
	との店で	とんな品物を とんな品物を



- ◎ どの店で、どんな品物を買っているか、地図やグラフにまとめてみよう!
- ◎気がついたことを話し合ってみよう!



^{ちゅうしゃじょう} 〔**駐車場のある店**〕

(2) スーパーマーケット調べ

スーパーマーケットでは、品物が首につきやすく、えらびやすいように、ならべ方やおき方を工美しています。また、質いたい品物がどこにあるのか、ひと首でわかるように、店内に売り場案内を出したり、安い品物がよくわかるように、めだつねふだをつけたりしています。

また、店が自につきやすいようにかんばんを出したり、車で来る人のために、広い たいうしゃじょう 駐車場をつくったりしています。ちらしを出して売り出したり、閉店時間をおそくし て、いつでも買い物ができるようにしたりして、工夫しています。



自分たちの町にあるスーパーマーケットでは、どんな工夫がされているか調べてみよう!

調べること	調べ方

(3) **商店街調べ**

福山市には、駅前や本通りを中心に、店がたくさん集まっている商店街があります。商店街には、それぞれ一つの種類の品物をあつかう専門店がたくさんあります。カラーほそうをしたり、車が入るのを禁止したりして、買い物がしやすいようにしています。



スーパーマーケットと商店街 を見学して、ちがいを比べてま とめてみよう! になもの しゅるい、店の大きさ、工夫 していることなど)



[オープンモール]

スーパーマーケット	しょうてんがい 商店街

(4) 福山市の商店

福山市には、およそ6400の店があります。

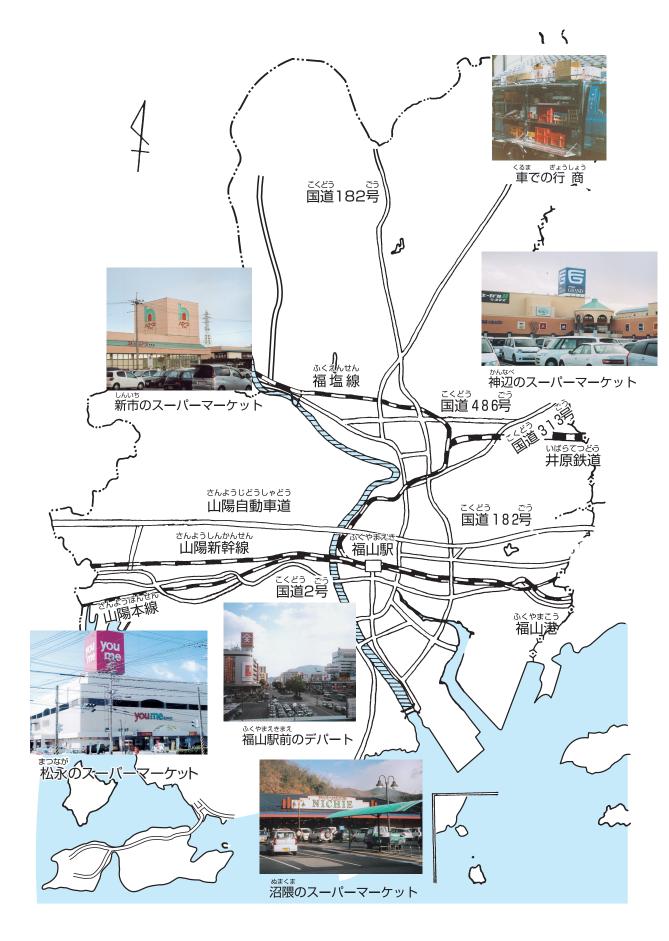
店がたくさんあつまっているところは、福山駅前や本通り・久松通りなどの商店街や大きな道路にそったところです。製鉄所が福山にできて40年あまりの間に、伊勢丘や大門・蔵王には、たくさんの住宅団地ができ、スーパーマーケットや専門店などの店ができました。また、福山の町が広がるにつれて、大型のスーパーマーケットをもの方にからしたとしてレストランや洋服の店などいろいろな種類の店が集まった場所がいくつもできました。

がごろではコンビニエンスストアなど24時間買い物ができる店も増えてきました。 お店からはなれたところでは、自動車に魚や野菜をつんで、家の前まで売りにきてくれる行商をしている人もいます。

家の人は、質い物を するときにどんなこ とに気をつけている のか聞いてみよう!



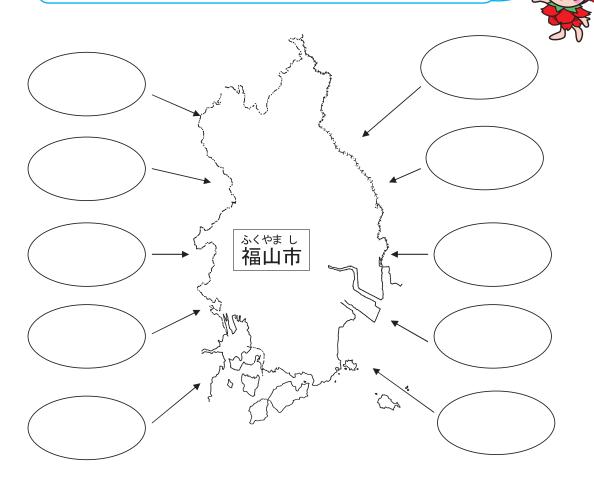
ッえ ひと き 家の人から聞いたこと





どこから	どんな方法で	どうして

みせ しなもの お店の品物は、どこからとどけられているのか調べてみよう!



4 工場で働く人々の仕事

福山は、工業のさかんな市です。鉄をつくる大きな工場や、服や織物などのせんい、 機械の小さなぶひん、食料品の工場など、働く人が少ない工場もあります。

るくやま 福山のおもな工場 【統計ふくやま 2016 年版】

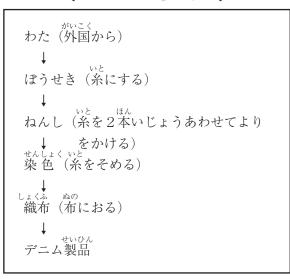
┌────────────────────────────────────				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_{かい} 械	-\$\dot\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d\d	でと 一つの絵は20工場	
(成	仇以	- ig -ig-d-d-d-d-d-d-d-d-d-d-d-	(401)	
せっ	ί ιν	THYTTYTY	(196)	
きん	ぞく		(218)	
bs< 的	ょう ひん 料 品	00000	(102)	
家具・	*〈せいひん 木製品		(81)	

(1)せんい工場

市の北京の書間は、今からは始めたところでもり」を織りが存ったところでもりが存ったなどでもの後、新市・駅がお中市には250であるようになり、新市・銀帯をおいた。しば大い場がありました。しば大い場がありました。があるには数えるほどになり、では、までのがありました。では、までは、までは、までは、までは、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、では、まであり、であっています。

[デニム製品を検査しているところ]

[デニムができるまで]



みんなが住んでいる が近くには、どんなしゅ るいの工場があるか調 べたり、そこで働いて いる人に話を聞いたり してみよう!



(2) 木材・木製品工 場

松永湾には、大きな木材がたくさんうかんでいる貯木場があります。それらの木材のほとんどは、アメリカ、ニュージーランド、カナダなど、外国から船で運ばれてきています。松永湾のまわりには、これらの木材をあつかう工場が集まっています。松永は昔から、木を使った製品をつくっていたところです。

今から350年ほど前、松永の砂浜を利用した塩田がつくられ、塩作りがはじまりました。たくさんの塩を船で北陸や山陰地方などへ運んで売るようになり、130年ほど前からは、塩をおろした船に、下駄の材料になる木材をつんで帰るようになりました。ここから松永は、下駄作りで全国的に有名になりました。今の松永では、塩はたったられていません。塩田だったところは住宅地になっています。下駄も昔ほど、はくかいなくなり、作る数が減っています。

しかし、木をあつかう技術をいかした工場は、今でも少なくありません。木の皮をはがして丸太にする工場や、板や柱をつくる工場があります。松永湾にうかぶたくさんの木材は、ほとんどが家を建てるための材料(建材)に使われています。丸太や建材は大きなトラックで福山市内・市外に運ばれています。



「外国から木材を運んできた船」





ちょぼくじょう [**貯木場**]





[かんそう]



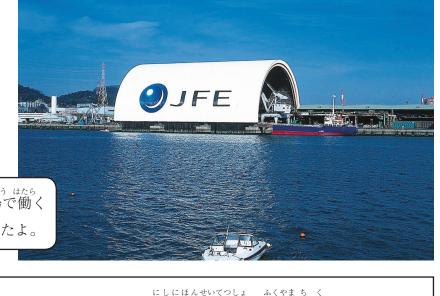


[製材]

(3) 鉄をつくる工 場



ふくやま いちばんおお こうじょう はたら 福山で一番大きい工場で働く にい はなし き お兄さんに話を聞いてきたよ。



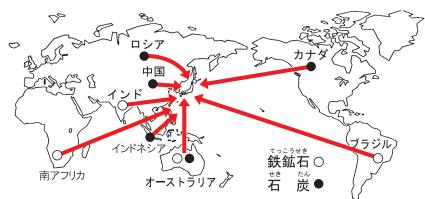


ここは、JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区)といって、 でいる工場です。 岡山県倉敷市にも同じ名前の工場が あって、二つの工場で生産される鉄の量は、世界最大級です。ここで働く人の数は、関係・協力会社の人たちも入れると1万5千人になります。

製鉄所のある所は、昔は海でしたが、1962年(昭和37年)からうめたてが始まり、1965年(昭和40年)から鉄をつくり始めています。うめたてた広さは、東京ドームがおよそ300入る大きさです。

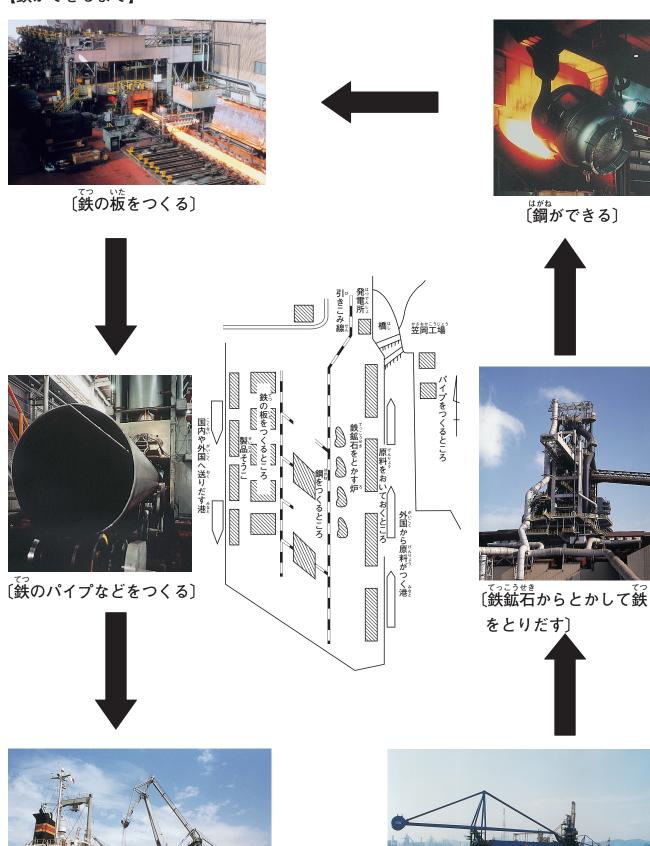
鉄をつくる原料の鉄鉱石や石炭は、すべて外国から運ばれています。石灰石は、たまかやまけん。大分県などから運ばれてきます。工場では、自動車や船・ビルなどに使われる鉄の板やパイプ、新幹線のレールなどをつくり、国内や外国に運ばれていきます。原料や製品のほとんどは、大型船が自由に出入りできる専用の港から運ばれています。ます。

工場では、空気や海をよごさないように、環境を守るためのせつびもととのえています。



原料のおもな仕入れ先

^で 【鉄ができるまで】



〔鉄を送りだす〕

[原料がつく]

5 郷土の伝統工芸

(1) 福山琴

なくやまこと ぜんこく こと せいきんりょう やく し がっき はじ でんとうてきこうげいひん 福山琴は全国の琴の生産量の約70%を占め、楽器として初めて「伝統的工芸品」 に指定されました。木目や装飾の美しさが特徴的で、音色も優れ、手作りの良さがあ

ふれる, 福山の代表的な工芸品です。

るくやま 福山での琴作りは、江戸時代の初めご ろから始められました。江戸時代の終わ りには琴の名手「葛原勾当」があらわれ、 福山の琴作りがさかんになり、製作技術 も高まっていきました。

その後、1970年代の終わりごろに なると、琴を買う人がへったり、琴作り



「世んこくしょうちゅうがっこうそうきょく 〔全国小中学校箏曲コンクール〕

のあとをつぐ人も少なくなったりしました。そのような中で、1985年(昭和60なん 年)には楽器としては初めて「伝統的工芸品」にえらばれました。琴を演奏する人が ふくやま こと はってん まいとし ぜんこくしょうちゅうがっこう そうきょく ふえ、福山の琴がさらに発展するようにと、毎年、全国 小 中 学校「筝曲コンクール」 や「ふくやま琴まつり」がリーデンローズで開催されています。

琴作りのようす

琴ができあがるまでに. ほかにどんな 仕事があるか調べてみよう!



[切り取った材料を、1年から3年 〔乾燥した材料を、琴の形に整える〕 かけて天然乾燥させる〕





ふるさと豆知識

うちゅう ひび ふくやまこと ねいろ 宇宙に響いた福山琴の音色

2010年(平成22年) 4月に打ち上げられたスペースシャトル「ディスカバリー」。 そ せんない にほんじん うちゅうひこうし やまざきなおこ ふくやまこと えんそう の船内で、日本人宇宙飛行士の山崎直子さんによって、福山琴が演奏されました。

シャトルの限られたスペースに積めるように、通常の5分の1ほ どの長さ35cm、幅13cmのミニチュアサイズで作られた琴です。 小さい頃から琴を習っていた山崎さんは、「宇宙で琴を演奏してみた い。」という夢を、福山琴によって実現したのです。



(2) 備後かすり

備後かすりは、福岡の久留米かすり、愛媛の伊予かすり とともに、日本三大がすりのひとつで、「広島県指定伝統工芸品」にも登録されています。

1828年(文政11年)に書田郡有磨村(現在の福油市書田町)に生まれた富田久三郎は、紺地に白の模様を入れるため、木綿の糸の一部を糸でしばって染め、木綿の糸の一部を糸でしばって染め、木綿の糸の一部を糸でしばって染め、木綿のかすり」を作ることに成功しました。肌触りがよく、変質をよく吸い、じょうぶで長持ちするこのかすりは、「備後かすり」と名づけられ、"着物"や"作業着"などに広く変開され、全国で売られるようになりました。

1877年(明治10年)ごろには、新市町や芦田町でますますさかんに作られるようになり、備後地方の特産品となりました。1959年(昭和34年)ごろには全国のかすり生産量の約70%を備後かすりが占めるまでになりました。

備後かすりは、完成までに20以上の作業があります。 にきょうてき いろ もよう だ すいのな色や模様を出すには、木綿糸を束ねたものを、何

昔は、それらのすべての工程を職人たちの手作業で行っていましたが、現在は機械による生産がほとんどです。

つでは、生産は少なくなりましたが、 がんでは、生産は少なくなりましたが、 がんでは、生産は少なくなりましたが、 がんでは、生産は少なくなりましたが、



〔備後かすり〕



とみたきゅうさぶろう







〔備後かすりのもよう〕

「備後かすり」に愛着を持つ人も多く、備後かすりの伝統を未来へ伝えていくために、かすりを使った新しい商品の開発を行ったり、販売会を行ったりして、多くの人に備後かすりを知ってもらい、活用してもらう活動が行われています。新市町にある「しんいち歴史民俗博物館」では、備後かすりの歴史が紹介されたり、藍染の体験ができたりするなど、地域の伝統工芸を受け継いでいくための取組が行われています。

20以上の作業って、どんなことをしているのかな?



(3) 下駄

松永町では、昔から下駄づくりが行われてきました。今では、松永は「はきもののまち」と呼ばれています。

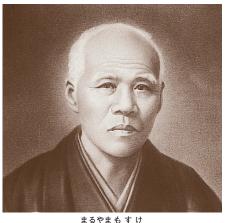
明治時代、松永の下駄屋の丸山茂助は、桐に似た安い「アブラギ」という木材を使って下駄を作りました。この下駄は、安くて丈夫であったため、やがて全国に 広まりました。

1907年(明治40年)頃には、全国に先がけて 質になりました。こうして、松永は「下駄のまち」として 大きく発展しました。

最近では、高級な下駄が人気で、特に夏は祭事用として若い人にも好評です。また、下駄は健康に良い たいりになるない。 贈り物としても人気になっています。現在も全国の50%にあたる年間80万足の下駄が生産されています。



まつながので駄 松永の下駄



まるやまもすけ 丸山茂助

ザ 下駄作りのようす



(機械を使って下駄の形に切り分ける)



〔表面をみがいてきれいにする〕

** がまるかご事じ調 あんるのよう!



ひろしまけん 広島県はきもの協同組合の人の話



下駄には木のあたたかさや温もりがあります。製造 ほうほう むかし 方法は昔から変わっていません。松永下駄の伝統と心は製造者によって、守られています。毎年秋に開催されている、ゲタリンピックも、大変盛り上がっています。



〔ゲタリンピック〕

びんご まもて (4) 備後表

備後表は、古くから作られ続けている、上質のいぐさを使った畳表です。年月が経つにつれて 黄金色に変わり、より艶が出てくるそうです。

備後表は、室町時代の終わりに、現在の なまくまちょう 沼隈町でいぐさを栽培して織ったのが始まりで す。生産には難しい技術が必要だったのですが、 なまくまくよう ながながないますが、 生産には難しい技術が必要だったのですが、 なまくまくんさんなそん げんざい ふく つからよう 沼隈郡山南村(現在の福



びんごぉもて **[備後表**]

できしぬまくまちょうさんな 山市沼隈町山南)の菅野に住む長谷川新右衛門が研究を重ね、畳表の中央で短いい ぐさをつなぐ「中つぎ表」を発明しました。これによって、畳表の生産量はたいへん 塩えました。この畳表は、「備後表」として、備後の国の特産物となっていきました。

しかし、現在では備後地方のいぐさの生産量が減少しているため、熊本県など他県



[いぐさ]

のいぐさを使って生産している備後表もあります。この熊本県のいぐさは、多くの備後のいぐさの栽培者が、方法を教えたことから始まっています。

現在、いぐさ製品工芸士は3人だけですが、「畳が減る中で、少しでもいぐさの良さを感じて欲しい。」との思いをもって、備

後いぐさを使った製品を未来へ伝えるための活動を行っています。

[いぐさ生産者組合連絡協議会の人の話]

いぐさに携わって50年になりますが、いぐさ 栽培は、"毎年1年生である"と言われるくらい難しいです。気温差や水の管理、肥料の量、刈取りの時期などとても気を使う作物です。"てん"と呼ばれる赤い斑点がでれば、いぐさの価値は下がってしまいます。

作業は、寒い時期に植えて、暑い時期に刈取るため大変ですが、刈取りが終った時は、ほっとします。今、いぐさの生産量は減っていますが、「備後表」の品質は多くの人に認められています。日本を代表する文化の一つである、黄金色に輝く備後表をぜひ、若い世代に伝えていきたいと思っています。

(5) 福山市以外での伝統的な工業 「熊野町の筆」

「熊野町は、160年以上の長い歴 ・ とこれが、 ・ とこれが、 ・ とこれが、 ・ とこれが、 ・ とこれが、 ・ とこれが、 ・ によるいです。 江戸時代 の終わりごろ、 有馬 (現在の兵庫県) や奈良で筆作りを学んだ人たちにより筆作りが始まりました。

明治時代に入り、学校ができると、 等がより多く使われるようになり、 熊野町では筆作りがさかんになって いきました。

にまったかりでは、さらに努力し技術を高め、質の良い筆を作ることができたので、熊野筆として全国



に知られるようになりました。今では1 年間(2006 年(平成18 年))に、約 1000 万本の毛筆を作っています。これはお金になおすと、約 45 億円になり、日本で作られる量の80%にもあたります。

熊野町には、116の筆を作る会社があります。そこでは習字につかう毛筆のほかにも、絵をかくための画筆、化粧に使う化粧筆などが作られています。これらの筆は、筆司とよばれる筆作りの技術者によって、手作業による昔から伝わった方法でつくられています。また、熊野町には、19名の伝統工芸士に認定された筆司がいます。





○ ^{śr} の作り方

どのように筆作りをしているのか工場に見学に行きました。

《毛組み》

筆先にするための材料を選び、使う場所によって長さや質をそろえます。

《火のし・毛もみ》

毛に灰をまぶし、火のしをあてシカ皮にまいてもむことで、毛の油やよごれを取りのぞきます。

《すん切り》

毛の長さをそろえます。

《ねりまぜ》

毛をうすくのばし、おりかえしてまぜあ わせます。

《糸じめ》

ねもとをあざ糸でしめ、やきごてでやき、 しめつけます。

《のりがため》

のりを、ほ首 (筆先の毛の部分) にふくませ、糸でのりを取り形を整えます。



〔芒ぐみ〕



〔火のし・毛もみ〕



[のりがため]

「のりがため」に挑戦してみたら、糸を巻きつけ、のりを取るときの力の入れ方が難しかったよ。何年くらい修行すれば、 職人さんのように上手にできるようになるのかな?



**で つく ひと はなし 筆を作っている人のお話

筆作りは、長年の経験や細かな技術が必要です。特にむずかしいのは毛組みです。きゅうらなされた筆を頭に思いうかべ、筆先の場所によって材料を選び、長さや質の違う目を組みです。たいかはまれた筆を頭に思いうかべ、筆先の場所によって材料を選び、長さや質の違う目を組みです。ないりようはる大変細かな作業です。材料の毛を確実に見分けられるようになるには、数十年の経験が必要です。材料の毛に含まれる油やよごれを取りのぞくための、火のしを当てます。火のしを当てます。火のしを当てます。火のしを当てる時間や温度は、毛の種類によって微妙に変えなければなりません。熱いうちに毛をすばやくシカ皮にまき、毛をおらないように発えるようにながらていねいにもみこみます。だき言とは、ないる作業です。このように筆作りは大変な作業ですが、よい筆ができあがり、お客されるたって流い技術が必要なので、一人前になるには長い経験が必要です。これからもみんなによろこばれるよい筆を作っていきたいと思います。

○ 原料はどこから

筆の原料になる毛や竹は、どこからくるのか調べました。ほ首には、ヤギ、ウマ、タヌキ、シカ、イタチなどの毛をつかいます。これらの毛は、主に中国やカナダなどの物をつかいます。また、じくになる竹は、歯がやまけん、島根県、兵庫県や韓国、中国などから送られてきます。

●製品はどこへ



ふで げんりょう け (筆の原料となる毛)



(店に並べられた筆)

○ 画筆, 化粧筆

画筆は一年間に約1200万本(2006年(平成18年)),お金になおすとおよそ25億円にもなります。これは,日本で作られる量のおよそ85%にあたります。でいる。 たいない 日本国内のほかにも,北アメリカ,東南アジア,ヨーロッパの国々にも送られています。

化粧筆は一年間におよそ2800万本(2006年(平成18年)),お金になおすとおよそ40億円にもなります。これは,日本で作られる量のおよそ90%にあたります。できた化粧筆は,画筆と同じく,北アメリカなど外国にも送られます。

このように、熊野の筆は、日本国内だけではなく外国の人々からも、その良さが認められ使われているのです。それは、苦くから伝わってきた熊野筆作りの技術が画筆や化粧筆にも、生かされているからです。



が ひつ **(画筆**)



しりょう [資料などをいただいたところ]

ふで さとこうぼう 「筆の里工房」

あ きぐんくまの ちょうなかみぞ ちょうめ 安芸郡熊野 町 中溝5丁目17-1

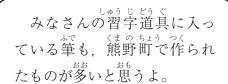
082-855-3010

http://www.fude.or.jp

くまのふでじぎょうきょうどうくみあい 「熊野筆事業協同組合」

ままくんくまのちょうなかみぞ ちょうめ 安芸郡熊野 町 中溝3丁目13-19

082 - 854 - 0074





ヤレンジコ



- (1)歴代福山藩主が奨励して発展した全国生産量の約7割を占める楽器で、最高級の ਫ਼りぎい っか つく すく ねいろ そうしょく かれい とくちょう がっき つぎ 桐材を使って作られ、優れた音色、装飾の華麗さが特徴の楽器は次のうちどれで しょうか。 〈第2回・3級〉
 - ①萎
- ②琵琶
- (3)尺八
- (4) = 味線
- (2) 2008 年 (平成 20 年) 7月に洞爺湖サミットが開催された際、福山産のある果物 がプレス関係者にふるまわれました。世界的に名をはせた福山産の果物とは次の うちどれでしょうか。 〈第2回・3級〉

- (1)本郷の柿 ②沼隈のぶどう ③神辺の桃 ④川口のいちじく
- (3) 主な産地は走島周辺で、6月から12月にかけて漁を行い、カタクチイワシの稚 〈第4回・3級〉
 - ① ちりめんシラス ② ちりめんイリコ
- - ③ちりめんイワシ ④ちりめんサヨリ
- (4) くわいは、田んぼの()といわれ、券が出る姿と券の鋭さから縁起物として 正月のおせち料理などに利用されます。()にあてはまるものは次のうちのど 〈第2回・2級〉 れでしょう。

- ①エメラルド ②アメシスト ③サファイア ④ダイヤモンド
- (5) ふくやまブランド農産物の愛称は「ふくやま SUN」です。2010年(平成22 年)に新たに認定された24番目の農産物はどれでしょう。

〈第4回・1級〉

①なすび ②かき ③生しいたけ ④かぼちゃ

解答は130p